

J-クレジット制度 プロジェクト計画書 （排出削減プロジェクト用）

プロジェクトの名称：

占冠村小規模多機能型居宅介護施設「とま〜る」への
地中熱ヒートポンプ導入事業

プロジェクト 実施者名	占冠村
----------------	-----

妥当性確認申請日 2016年 2月 3日

プロジェクト登録申請日 2016年 3月 23日

1 プロジェクト実施者の情報

1.1 プロジェクト実施者（複数のプロジェクト実施者がいる場合は代表実施者）

実施者名	(フリガナ) シムカブムラ
	占冠村
住所	北海道勇払郡占冠村字中央

1.2 プロジェクト代表実施者以外のプロジェクト実施者

実施者名	(フリガナ)
住所	

1.3 J-クレジット保有者

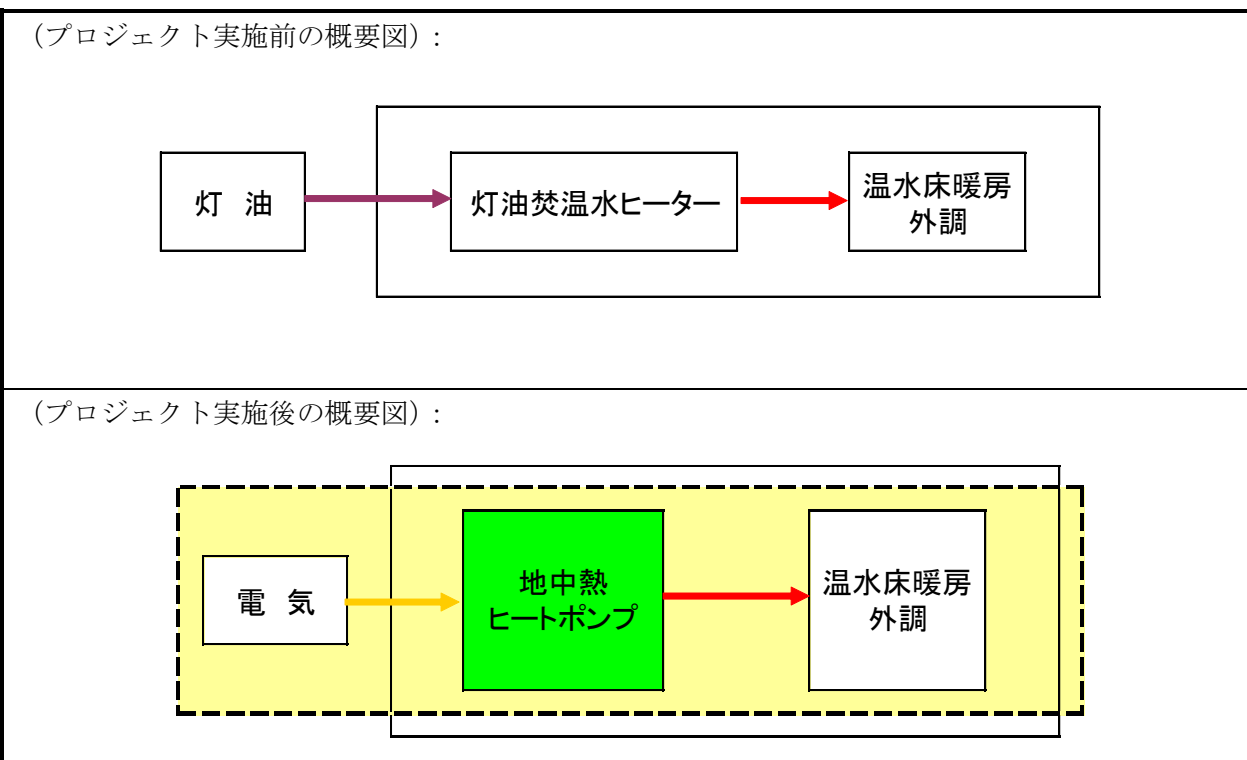
保有者名	(フリガナ) コウエキサ イダンホクジン ホッカイドウカンキョウサ イダン
	公益財団法人 北海道環境財団
住所	札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F

2 プロジェクト概要

2.1 プロジェクトの目的及び概要

プロジェクト名	占冠村小規模多機能型居宅介護施設「とま〜る」への地中熱ヒートポンプ導入事業	
目的	本事業は、標準的な熱源機器ではなく、高効率の地中熱ヒートポンプを導入する事で、省エネルギー・省CO2化を図るものである。	
概要（削減方法）	施設の熱源機器として標準的に使用される灯油焚温水ヒーターではなく、地中熱ヒートポンプを導入し、温室効果ガス排出削減を図る。	
プロジェクト実施場所	実施事業所名	占冠村小規模多機能型居宅介護施設「とま〜る」
	住所	占冠村字中央56番地21

2.2 プロジェクト実施前後の状況



2.3 プロジェクト要件への適合

プロジェクトの実施日	<input checked="" type="checkbox"/> 2013年4月以降に実施されたプロジェクトである <input type="checkbox"/> 2012年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認及びオフセット・クレジット(J-VER)制度におけるプロジェクト登録のいずれも受けていない <input type="checkbox"/> 2008年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認又はオフセット・クレジット(J-VER)制度におけるプロジェクト登録を受けている ※3
追加性	<input checked="" type="checkbox"/> 追加性を有している

方法論

2.4 適用方法論

適用する方法論	方法論番号	<u>EN-S-002 Ver.1.2</u>
	方法論名称	ヒートポンプの導入
更新／新設	<input type="checkbox"/> 更新プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 新設プロジェクト

2.5 方法論の適用条件への適合

条件 1	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<p>説明</p> <p>本事業にて導入したヒートポンプの効率（COP）は334.4%であり、標準的な熱源設備である灯油焚温水ヒーターの効率 84.1%を上回る。</p> <p>標準的な熱源設備として灯油焚温水ヒーターを選定した理由は以下の通りである。</p> <p>①機器群の特定</p> <p>本事業は、温水床暖房の熱源として地中熱ヒートポンプを導入しており、同様の事業において通常採用されうる機器群として灯油焚温水ヒーターを選定した。</p> <p>②設備の特定</p> <p>標準的な設備の規模は、プロジェクトで新設したボイラーと同等規模である。使用する化石燃料は、導入場所（北海道勇払郡占冠村）の地域特性を考え、都市ガスの供給エリア外であること及び近隣にLPGボイラーを暖房設備として導入している施設が無いことから、灯油とする。</p> <p>③設備効率の設定</p> <p>同等の出力を有するそれぞれ異なるメーカーの機種3種類の平均値を採用した。</p>
条件 2	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<p>説明</p> <p>ヒートポンプで生産した温熱は全量当該施設で消費する。なお、ヒートポンプで生産した冷熱は排出削減量の認証の対象としない。</p>
条件 3	<input type="checkbox"/> 適合している	説明
条件 4	<input type="checkbox"/> 適合している	説明

2.6 モニタリング・算定方法

ベースライン排出量				
主要／ 付随的	排出活動	温室効果ガス の種類	影響度	モニタリング・算定の実施
主要	温水ヒーターの使用	CO2	—	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
主要			—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
付随的				<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する
付随的				<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する

プロジェクト実施後排出量				
主要／ 付随的	排出活動	温室効果ガス の種類	影響度	モニタリング・算定の実施
主要	ヒートポンプの使用	CO2	—	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
主要			—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
付随的	冷媒 (R407C) の漏洩	R407C	6.2%	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する
付随的				<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input type="checkbox"/> 影響度により排出量を評価する

3 排出削減計画

認証予定期間	2016年3月23日 ～ 2021年3月31日（5年0.3ヶ月）					
排出削減計画	年度	ベースライン排出量		プロジェクト実施後 排出量		排出削減量
	2013年度	t-CO2		t-CO2		t-CO2
	2014年度	t-CO2		t-CO2		t-CO2
	2015年度	0.8	t-CO2	0.5	t-CO2	0 t-CO2
	2016年度	32.0	t-CO2	18.8	t-CO2	13 t-CO2
	2017年度	32.0	t-CO2	18.8	t-CO2	13 t-CO2
	2018年度	32.0	t-CO2	18.8	t-CO2	13 t-CO2
	2019年度	32.0	t-CO2	18.8	t-CO2	13 t-CO2
	2020年度	32.0	t-CO2	18.8	t-CO2	13 t-CO2
	合計	160.8	t-CO2	94.5	t-CO2	65 t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input type="checkbox"/> 電力のCO2排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由（以下に記載すること）					

4 データ管理

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載する。詳細については、J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）「2.4」を参照のこと。

4.1 モニタリング体制

データ管理責任者	占冠村 保健福祉課 福祉施設推進室 室長
モニタリング担当者	占冠村 保健福祉課 福祉施設推進室 担当

4.2 モニタリングデータの収集・記録・保管

モニタリングデータの収集・記録・保管の手続	<ul style="list-style-type: none">・積算熱量計の数値を月1回確認し、電子データで記録する。・排出係数はJ-クレジットデフォルト値を確認する。・プロジェクト実施前後の設備の仕様書を保管する。
データ保存期間	認証対象期間終了後__2__年間

5 特記事項

5.1 排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクの特定について

排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクがあるか

有 無

(「有」にチェックした場合に記入)

項目	概要
リスク要因	

5.2 ダブルカウントの防止措置について

類似制度へプロジェクトを登録しているか。

登録している

(類似制度名 : _____)

類似制度での認証予定期間 : _____)

登録していない

5.3 法令等の義務の有無について

プロジェクトの実施は、法令等の義務履行によるものではないか。

法令等の義務履行によるものではない。

法令等の義務履行によるものである。